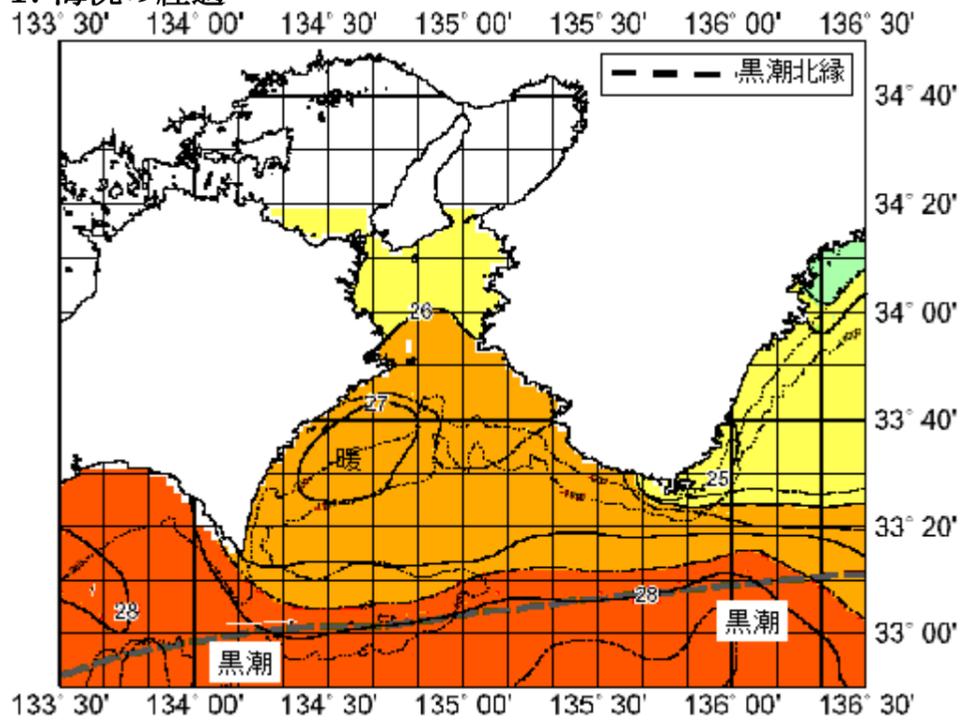


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.07.14)を示した。

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は28℃台である。

表面水温は播磨灘が23℃台、紀伊水道内部が25～26℃台、外域が26～27℃台である。

海部沿岸やや沖には、27℃台の暖水塊がある。

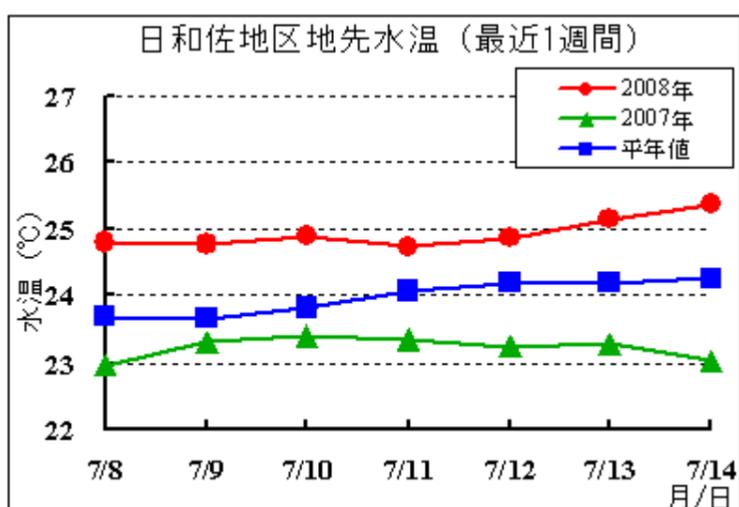
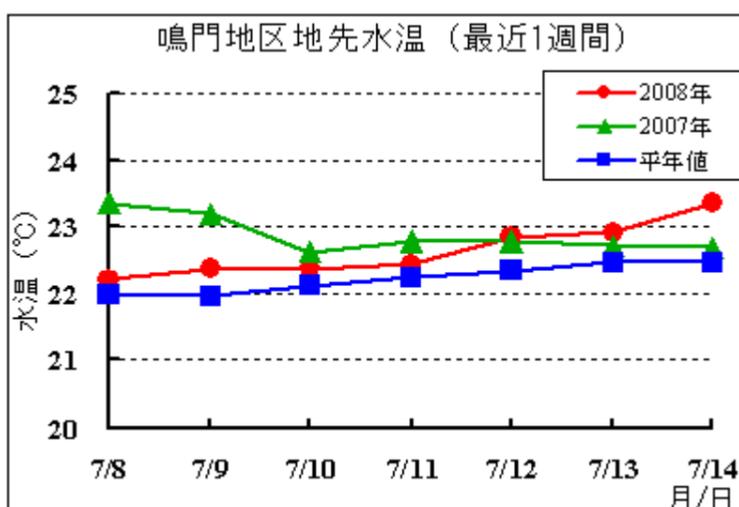
漁業調査船「とくしま」が7月7日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層が「やや高め」の24.0℃、10m層が「平年並み」の21.6℃、20～30m層が「やや高め」の20.3～21.1℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2008/07/07)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	24.0	21.6	21.1	20.3	今年値	31.9	32.0	32.0	32.0
平年偏差	1.0	0.4	0.6	0.5	平年偏差	0.3	0.1	0.0	-0.1
前年偏差	0.3	-1.1	-0.8	-0.9	前年偏差	-0.7	-0.7	-0.7	-0.7

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の22.2～23.4℃、日和佐地区は「やや高め」の24.7～25.4℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の24.2～26.0℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、小主体にアカムツが0.3トン(1日1隻当たり27kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、小小主体にカマス類が0.6トン(同12kg)、中・小主体にカンパチが0.2トン(同12kg)、小主体にトビウオ類が0.5トン(同13kg)、マメ主体にマアジが3.3トン(同164kg)、マイワシが1.8トン(同183kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にイサキが1.1トン(同108kg)、小小主体にカマス類が0.4トン(同46kg)、ツバスが0.4トン(同49kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にイサキが0.4トン(同10kg)、キハダが0.2トン(同121kg)、大主体にゴマサバが0.5トン(同36kg)、マルソウダが0.2トン(同4kg)、紀伊水道で、特大・大主体にタチウオが1.5トン(同19kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 07月7日～07月13日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	12	328	27	小主体
小型定置網		カマス類	55	647	12	小小主体
		カンパチ	18	213	12	中・小主体
		トビウオ類	40	508	13	小主体
		マアジ	20	3,287	164	マメ主体
		マイワシ	10	1,832	183	
		イサキ	10	1,075	108	大主体
大型定置網		カマス類	8	364	46	小小主体
		ツバス	8	391	49	
		イサキ	45	441	10	大主体
釣り		キハダ	2	242	121	
		ゴマサバ	15	542	36	大主体
		マルソウダ	60	236	4	
		タチウオ	79	1,532	19	特大・大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	165	166,425	1,009	

特異事項:

本県沿岸域において、潮目にミズクラゲが見られる。

週間予報:

黒潮は、室戸岬で接岸、潮岬で接岸からやや離岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の23℃台、日和佐地先で「やや高め」の25～26℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の定置網で、マアジが1.3トン(1日1隻あたり111kg)、釣りでスルメが5.2トン(同20kg)、イサキが5.7トン(同21kg)、パッチ網でシラスが7.7トン(同121kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上